

令和八年七月 文月

倉人

月刊 倉人(くらんど) 第275号

発行日：令和 8年 6月30日発行

編集：大倉地域連合町内会総務部

発行：大倉地域連合町内会

<http://prj.smt.jp/~ookura/>

今月の題字：定義如来西方寺住持 大江田義さん

大倉地域

おらのまち便り

今月の『おらのまち便り』は、大倉地域連合町内会から大倉ダム堰堤の交通規制について、大倉地区防犯協会による防犯パトロールの報告、交通安全協会大倉支部からの活動報告とお知らせ、大倉女性防火クラブによる移動研修の参加案内、さらに、各町内会からの活動報告とその他です。

大倉地域

連合町内会だより

◆大倉ダム堰堤交通規制◆

大倉ダム堰堤では、交通規制により午後五時以降、信号機による片側交互通行が行われています。

ただし、定義ホテル観賞期間の六月二十七日(土)から七月五日(日)までは、多くの来場者が見込まれることから、午後九時まで交通誘導員による車両誘導が実施されます。

七月六日(月)以降は、再び信号機による片側交互通行となりますので、通行される皆様のご理解とご協力をお願いいたします。

大倉地区防犯協会

防犯パトロール実施

便乗詐欺特殊詐欺に注意!

大倉地区防犯協会は六月二十一日、防犯実働隊による定期防犯パトロールを実施しました。当日は雨模様でしたが、定義地区を訪れる観光客や地域住民に対し、防犯意識の向上と特殊詐欺被害防止を呼びかけました。

近年、特殊詐欺の手口はますます巧妙化しており、高齢者だけでなく幅広い年代に被害が広がっています。特に、SNSを利用した「投資詐欺」や「ロマンス詐欺」が全国的に増加しているほか、警察官を名乗って金銭をだまし取ろうとする「ニセ警察詐欺」にも注意が必要です。

SNS型ロマンス詐欺は、SNSやメッセージアプリを通じて親近感や恋愛感情を抱かせ、金銭を要求する手口です。また、SNS型投資詐欺は「必ず儲かる」「著名人も投資している」などと勧誘し、架空の投資話へ誘導するものです。いずれも被害額が高額になるケースが少なくありません。

被害を防ぐためには、知らない相手からの投資話や金銭要求を安易に信用しないことが大切です。不審な電話やメッセージを受けた際は、一人で判断せず、家族や警察へ相談しましょう。



交通安全協会大倉支部

六月の活動報告と

交通安全の呼びかけ

宮城県では「交通死亡事故ゼロキャンペーン」を展開し、交通事故防止を呼びかけています。

近年、運転中のスマートフォン

ンや携帯電話の使用による事故が全国的に増加しています。いわゆる「ながらスマホ」は大変危険で、死亡事故率は通常の事故の約3.4倍ともいわれています。運転中の通話や画面の注視には厳しい罰則が設けられており、交通違反だけでなく重大事故につながる恐れがあります。スマートフォンやカーナビの操作は、安全な場所に停車してから行いましょう。

また、県内では高齢者が関係する交通死亡事故も多く発生しています。車は便利な移動手段ですが、一歩間違えば人の命を奪う危険な乗り物にもなります。速度を控えめにし、時間に余裕を持って出発するなど、ゆとりある運転を心掛けることが大切です。

さらに、高速道路で事故や故障が発生した際は、「路上に立たない」「車内に残らない」「安全な場所へ避難する」の三原則を守りましょう。二次被害を防ぐためにも、まずは自分自身の安全確保を最優先に行動することが重要です。

梅雨の時期は雨による視界不良や路面の悪化により、事故の危険が高まります。一人ひとりが交通ルールを守り、安全運転を心掛けて、交通死亡事故ゼロを目指しましょう。

大倉女性防火クラブ

◆角田・蔵王方面研修◆ 一緒に学び、交流を

大倉女性防火クラブでは、今年も恒例の「移動研修」を開

催します。

当日は、蔵王酪農センター、角田宇宙センター、田んぼアート、道の駅かくたを巡り、見学や研修を通して親睦を深めます。

防火クラブでは、「初めて参加される方も大歓迎です。地域の皆さんと一緒に、学びと交流のひとときを楽しみましょう」と参加を呼びかけています。

バスでゆったりと巡る日帰り研修です。お誘い合わせのうえ、ぜひご参加ください。

【日時】 八月二十五日(火)
午前八時 定義出発
午後四時頃 大倉到着予定

【行き先】

定義、蔵王酪農センター、角田宇宙センター、田んぼアート、道の駅かくた(昼食)、大倉

【会費】 二、〇〇〇円

【申込締切】 七月二十日(月)

【申込先】 各地区の班長
なお、詳しくは全戸配布するチラシをご覧ください。



各町内会から

大倉栗生町内会

六月の活動報告

【大倉栗生町内会】

六月六日(土)、イノシシ被害防止のためのワイヤーメッシュ更新について打ち合わせを行いました。

前回は地区全体を囲うように設置しましたが、今回は効果を高めるため、農地や掘り起こし被害の多い場所を重点的に、複数箇所へ分散して設置する方針を確認しました。

また、仙台市のクマ対策パッケージ事業の助成を活用し、滝ノ上地区を含む周辺で被害防止対策として刈り払いを実施しました。クマが侵入しやすい笹藪や耕作放棄地を中心に、五月から六月上旬にかけて刈り払いと雑木の伐採を行い、農地周辺の見通しを確保しました。



【大倉ふるさと農園】

六月六日(土)、「草餅作り」を開催しました。材料となるヨモギは五月に参加者全員で摘み取ったもので、香り豊かな草餅が出来上がりました。

また、六月二十日(土)には、昨年植え付けたタマネギの収穫を行い、収穫の喜びを分かち合いました。



七月の予定

【大倉栗生町内会】

予定なし

【大倉ふるさと農園】

・四日(土)：ブロッコリー、キャベツなどの種まき
・十九日(日)：バーベキュー

白木町内会

白木町内会では、六月十三日(土)、十四日(日)、二十八日(日)の三日間にわたり、中山間地域の水田周辺で草刈作業を実施しました。

町内会員の皆さんの協力により、予定していた区域の草刈りを無事に終えることができました。

また、六月二十六日(金)には役員会を開催し、七月十二日(日)に集会所周辺やため池、水路の草刈作業を実施することを決定しました。地域環境の保全と安全確保のため、引き続き皆さんのご協力をお願いいたします。



日向町内会

日向町内会からの報告はありませんでした。

定義町内会

◎定義親友会

定義親友会は、六月二日(火)、六月十七日(水)に、定義橋から石沼間の道路沿いの草刈りと、門前等の草刈りを実施しました。

例年より少ない人数ですが、目標の区間の草刈りを終えました。

大倉四季探検

定義記念樹の森

下草刈り作業実施

定義記念樹の森実行委員会は、今年第一回目の定義記念樹の森下草刈りを、六月八日(月)から十七日(水)まで行いました。

面積も増えましたが、皆さんのおかげで早めに終えました。



定義カブトムシの森

七月十八日(土)～十九日(日)

大倉四季探検では、七月十八日(土)・十九日(日)の二日間、「定義カブトムシの森」を開園します。

定義カブトムシの森は、多くの子どもたちや家族連れに親しまれてきましたが、先日の役員会において、観察小屋

Topics

定義如来夏まつり

八月一日(第一土曜日)

定義如来奉賛会では、八月一日(土)、恒例の「定義如来夏まつり」を開催します。

当日は、定義如来大本堂前を会場に、みこし渡御や定義太鼓、盆踊りなど、多彩な催しを予定しています。

また、平貞能公遠忌法要は大本堂内で厳かに執り行われ、その後、夜空を彩る奉納花火が打ち上げられます。

夏の定義を彩る伝統のまつりです。ご家族、ご友人お誘い合わせのうえ、ぜひご来場ください。



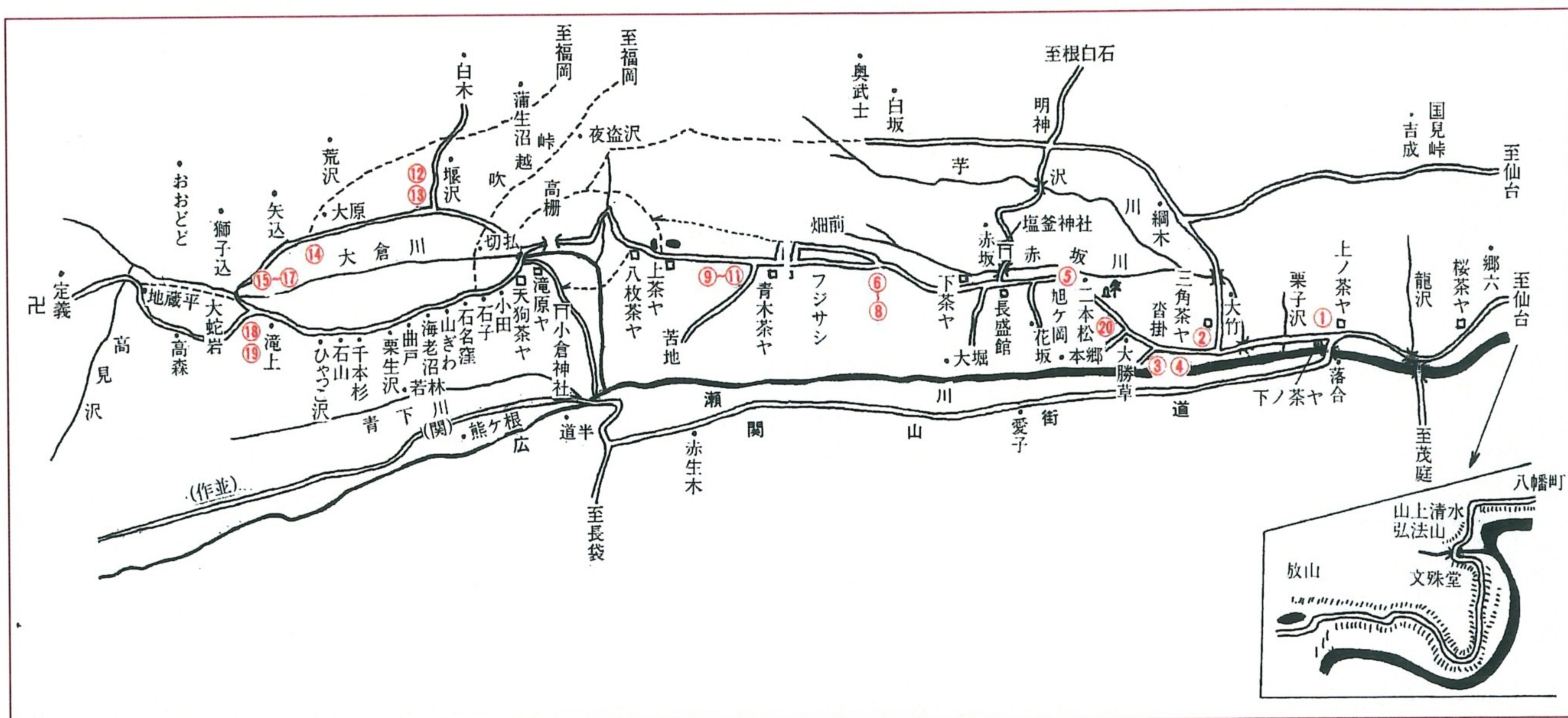
の老朽化が進み、修繕や維持管理に多額の費用を要することから、今季をもって終了することが決定されました。

長年にわたり地域の皆様に支えられてきた事業の締めくくりとなります。

最後の「定義カブトムシの森」をぜひお楽しみいただき、夏の思い出づくりにご来場ください。

特集

大倉歴史探訪「定義道」編⑫



定義街道と石碑

今回の特集では、4つの定義古道のうち八幡町から定義までの石碑をたどり、定義古道を紹介しながら、当時の様子を顧みたいと思います。

【石碑説明10】

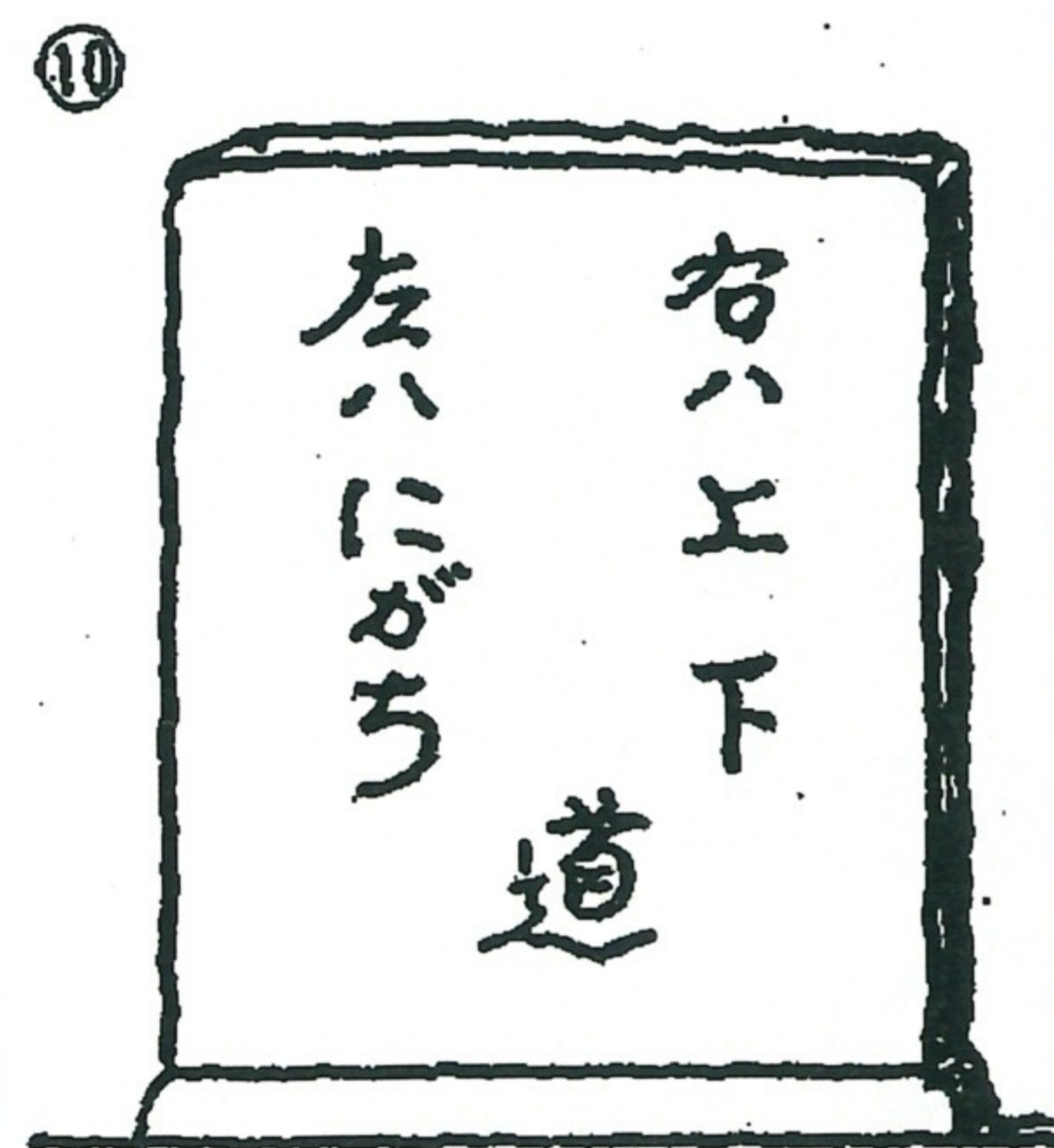
場所: マップ⑩

年代: 不明

内容: 右ハ上下

左ハにがち

石碑は、小さな碑ですが、定義と苦地を間違わないようにシンプルですがはっきりした碑です。きっと、間違って苦地へ曲がる方が多かったものと思われる。



右の写真は、大正年間青ノ木茶屋を営んでいる頃の青ノ木茶屋の様子で、多くの定義如来参拝の方が立寄り、たいへん繁盛したとのこと。看板写真は、当時の青ノ木茶屋の看板を模したもので現存しています。写真提供・荒井久男氏。



大倉☆くらんだー7月

大倉地域の行事案内

(行事の日時、内容は変更になることもあります)
※ふるセン=大倉ふるさとセンター行事

日	曜	行事内容
1	水	定義ホテル観賞会
2	木	
3	金	
4	土	ふるさと農園作業日
5	日	五重塔ライトアップ
6	月	
7	火	
8	水	
9	木	
10	金	
11	土	ふるセン(水どあそべんちゃー)
12	日	
13	月	
14	火	
15	水	
16	木	
17	金	
18	土	定義カブトムシの森 ふるセン(里山で昆虫採集をしよう)
19	日	定義カブトムシの森 ふるさと農園作業日
20	月	海の日
21	火	
22	水	
23	木	
24	金	
25	土	ふるセン(川たんけん隊)
26	日	ふるセン(古民家ヨガ)
27	月	
28	火	
29	水	
30	木	
31	金	

大倉ふるさとセンター訪問

大倉ふるさとセンター訪問は、六月のイベント報告と、七月のイベント紹介です。ご都合のつく方ぜひご参加下さい。

六月のイベント報告

キャンプを楽しもう

六月に開催した「キャンプを楽しむin大倉」には、九組十三名が参加し、一泊二日のキャンプを満喫しました。天候にも恵まれ、子どもたちは自然の中で元氣いっぱい遊び、参加者同士の交流も深まる楽しいひとときとなりました。

七月のイベント紹介

大倉こども縁日〜七夕〜

(古民家を会場に夏を感じる子どもが遊べるブースを開店。)

日時：七月五日(日)

十一時〜十四時

募集：子どもと保護者
*直接会場へお越しください。



古民家ヨガ
「古民家ヨガ」には十四名が参加しました。ストレッチを中心とした内容で、梅雨時期の疲れやすい心身をゆつくりとほぐし、心地よい時間を過ごしました。

◆里山で昆虫採集をしよう
(虫好きのための一泊二日の虫探しキャンプ)
日時：七月十八日(土)十五時
〜十九日(日)十一時
募集：小学生以上の子どもと
定員：八組(抽選)
保護者



◆川たんけん隊
(豆沢川で水生生物を探そう)
日時：七月二十五日(土)
午前十時〜午後一時
募集：小学生以上の子どもと
定員：八組(先着順)
費用：一人五百円
受付：七月十一日(土)
午前十時から
保護者



◆古民家ヨガ
(古民家で心体をリフレッシュ)
日時：七月二十六日(日)
十時三十分〜十一時三十分
募集：成人十五名(先着順)
費用：五〇〇円
※参加受付中

編集後記

月間『倉人』二七五号をお届け致します。
今月も『倉人』をご覧いただき、ありがとうございます。
梅雨明けが待ち遠しい季節となり、地域では夏に向けたさまざまな活動が始まっています。一つひとつの取り組みは、地域の皆さんの支えがあつてこそ続いています。暑さが厳しくなりますので、熱中症には十分気を付け、元気に夏を迎えましょう。

